

# 令和元年度 自己評価報告書

令和2年4月8日

## 大項目1 教育理念・目的・人材育成像

大項目総括	特記事項
<p>本校の教育目標は、地域の企業、官公庁などで活躍する有為の人材を育成することであり、その実現のために次の3つの基本理念を掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 確固たる専門的な知識・技能の習得</li><li>2 豊かな人間性の涵養</li><li>3 職業人、社会人としての実践力の育成</li></ol> <p>この基本理念は毎月行われる全校集会でも唱和しており、学生にも周知されている。また、各種説明会やガイダンスなども積極的に行い、学園外にも広く知られている。</p> <p>今後、外部評価や企業への訪問などを行い、更に社会や業界のニーズを掴み、そのニーズに合った将来構想を描いていきたい。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
1-1 学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	基本理念に基づき明確に定められおり、学則、学校案内、HPなどの資料に明記されている。		学則、細則、内規 学校案内、HP	4.8
1-2 学校における職業教育の特色は何か	各コースの特色は明確であり、学校案内などに明記している。		学則、学校案内 HP	4.8
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	地域経済の状況を把握しながら、地域に根差し貢献できる人材育成に取り組んでいる。	時代の変化に沿った将来構想は不十分である。 中長期的な目標について、外部評価委員からの意見を取り入れる。	学則、学校案内	3.5
1-4 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	学生や保護者を対象に各種説明会（オープンキャンパス、入学・進級説明会、オリエンテーション等）やガイダンスなどを行い周知を図っている。		学校案内 学生生活の手引き 各種説明会	4.3
1-5 各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	社会人としての普遍的なニーズを想定した教育目標を定めているが、業界のニーズに向けての方向づけは不十分である。	より業界のニーズに向けての方向づけを行う必要がある。 ・企業へのアンケートを実施し、企業訪問を積極的に行う	学則、学校案内	3.2

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目2 学校運営

大項目総括	特記事項
<p>学校運営については、その意思決定システムが確立されており、学園の運営方針は理事会・評議員会で、また学校内の運営方針は校長を中心とした職員会議によって定められている。</p> <p>この度の学校法人化にあたって、これまでの事業計画、規則・規定などを見直し、体制をより強固なものにしている。</p> <p>教育活動については情報公開しており、各種説明会・ガイダンス・学校案内・HP等で積極的に伝えている。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
2-1 目的などに沿った運営方針が策定されているか	運営方針は定められている。		理事会、評議員会資料・議事録 寄附行為	4.3
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	事業計画は定められており、それに沿って学校を運営している。		理事会、評議員会資料・議事録 事業計画書	3.7
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	規則によって定められている。	今後、運営組織の運営実態にあった共有化を進める。	各種会議資料 役員名簿、寄附行為 組織図、就業規則	3.0
2-4 人事、給与に関する規定などは整備されているか	人事、給与に関する規定は整備されている。	就業実態を把握しながら運用を進める	就業規則ほか各種規定 学則、細則、内規	3.3
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	意思決定システムは確立されており、権限者も明確になっている。		理事会、評議員会 各種会議資料 学則、細則、内規	4.2
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	社会通念に従って運営しているが、学校法人化にあたって体制を整えている。		寄附行為	4.3
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	学校の概要や教育内容などを各種説明会、学校案内、HP等を利用し公開している。		各種説明会、 学校案内、HP SNS	4.2
2-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	様々な情報システムを導入し業務の効率化を図っている。	教職員の情報リテラシーを向上させる。 ・研修などを行いリテラシーの向上を図る。		3.5

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

### 大項目3 教育活動

大項目総括	特記事項
<p>本校のカリキュラムは、教育目標・基本理念に沿って体系的に編成されている。</p> <p>各コースにおいて進級・卒業基準検定を設定しており、資格取得のための学習時間を十分に確保し、学生の学習意欲向上を図っている。また、ビジネスマナー週間の設定や各種業務説明会などを行い、基本理念の一つである「実践力の育成」に努めている。</p> <p>教職員の指導力向上、能力開発が今後の課題であり、人員の確保、研修の充実を図っていきたい。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育理念に沿って定めている。		教育理念 教育課程表 シラバス	4.8
3-2 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	各コースで進級・卒業基準検定を設定している。 学習時間は十分に確保している。		学則、細則、内規 学生生活の手引き シラバス	4.5
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	各コースのカリキュラムは体系的に編成されている。		シラバス 時間割	4.8
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	業務説明会やビジネスマナー講習など、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムを実施している	今後さらに工夫・開発を行い改善していく。	シラバス 時間割	3.7
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	外部評価委員会を通して外部への意見を取り入れる体制を整えている。	外部評価や企業へのアンケート、企業訪問などによるカリキュラムの見直しを行う。	外部評価委員会資料	2.8
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	病院実習、日南町職場体験、とっとりインターンシップなどを実施しており、体系的に位置づけられている。		インターンシップのしおり、実習日誌	4.0
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	今年度より実施しており、授業の質向上に努めている。		授業評価アンケート	4.0
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	外部評価委員会を通して外部からの意見を取り入れる体制を整えている。	外部から助言をいただく機会を増やし、今後の教育活動に活用する。	外部評価委員会資料	—
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	明確になっており、学生、保護者への周知も徹底している。		学則、細則、内規 学生生活の手引き	4.8
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	授業の中で資格取得に向けての対策を十分に行っている。		教育課程表、シラバス 学生生活の手引き	4.8
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	目標達成に必要な要件を備えた教員は確保できている。	さらに人員の確保が必要である。	教職員名簿、学則 校務分掌、組織図	4.3
3-12 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	コース担当によっては、定例的な研修に参加できている。	校外への研修の機会が乏しい。 ・関連機関との連携を図る。 ・長期休暇を利用するなど研修の推進を図る。		2.8
3-13 職員の能力開発のための研修等が行われているか	現状では、教員個人の取り組みに任せている状況であり、研修などは不足している。	外部講師を招聘し、研修・講演を行う。 授業見学の実施を検討する。 学校内での研修を実施する。		2.2

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目4 学修成果

大項目総括	特記事項
<p>本年度の就職率は100%であり、当初の目標を十分に達成できている。</p> <p>各種検定試験・資格取得に関しては、試験傾向や試験範囲だけでなく、試験制度そのものの変更が行われるケースも増えている中、その変化にいち早く対応し、常に高い合格率・取得率を維持している。</p> <p>本校は担任制度を採用しており、担任・副担任を中心に学生が教員に気軽に相談しやすい体制をとっている。また、担任との面談だけでなく、教務主任や校長との面談も必要に応じて行っている。</p> <p>卒業生へのアンケート、企業へのアンケートなどで卒業後の実態を把握し、学校の教育活動の改善に活用していきたい。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
4-1 就職率の向上が図られているか	就職に関する、段階的な指導カリキュラムが整備されている。		学校案内、広報資料、学生生活の手引き	4.8
4-2 資格取得率の向上が図られているか	向上が図られている。		学校案内、広報資料、学生生活の手引き シラバス	4.5
4-3 退学率の低減が図られているか	担任制度を採用しており、クラスごとで出席管理の厳格化や、欠席や遅刻に対する対策に取り組んでおり、また、担任を含め、教員に気軽に相談できる体制をとっている。	学生に対する相談体制を強化する。 入学後に目的を見失う学生が一定数いる。 ・入学前のコース理解に努める	学校案内、広報資料、学生生活の手引き	4.2
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生の来校や卒業生へのアンケート、企業へのアンケートを行うことを検討している。	関連分野からのヒアリングを強化する。	企業アンケート 卒業生アンケート	—
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	各種アンケートや卒業生からの就業状況などヒアリングし、授業の質向上に努めることを検討している。	企業アンケートなどの結果を分析・共有し、更なる授業の質向上に努める。	企業アンケート 卒業生アンケート	3.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目5 学生支援

大項目総括	特記事項
<p>学生への支援については、就職支援、学生相談、経済的支援、健康管理、生活環境支援などの体制が整っている。また、本校は学生数が100人程度の規模であり、一人ひとりに手厚い支援を行っている。</p> <p>保護者との連携については、本校はこれを重要視しており、電話での連絡だけでなく、学校にお越しただいて面談を実施するなど、連携を密にしている。</p> <p>本校では同窓会を組織しており、卒業生への支援につなげられるよう検討している。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	担任制のもと、進路・就職に関する支援体制は整備されている。	ジョブ・カードの利用を検討する。	求人票 進路調査報告書	4.3
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	定期的に担任が面談を行い学習や学生生活に関する悩みに対応している。	専門家の協力体制を検討する 専門的な知識を持つ職員を配置できないか検討する。		3.8
5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	就学優遇制度や特典制度など支援体制は充実している。		募集要項 奨学金関係書類	4.2
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	現在のところ結核健診だけにとどまっている。	内科検診の実施を検討している。		2.7
5-5 学生の生活環境への支援は行われているか	希望する学生にはアパートの斡旋など、生活環境への支援を行っている。			4.0
5-6 保護者と適切に連携しているか	入学・進級説明会の実施や、適時、連絡を取るなど適切に連携している。			4.8
5-7 卒業生への支援体制はあるか	資格取得や再就職など相談があった場合に積極的に対応している 同窓会を組織している。	同窓会の活性化を検討している。	同窓会名簿	4.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目6 教育環境

大項目総括	特記事項
<p>本校の施設・設備は設立当初から使用しているが、必要に応じて改修、改善が行われており、また、教育活動に必要な設備・備品も充実しており、教育上の必要性に十分対応できるよう整備している。</p> <p>学外での実習、インターンシップについては関係機関と連携し積極的に行われている。</p> <p>防災に関する体制については、法令に従い必要な規定や防災設備を整えている。全国各地で甚大な被害をもたらす災害が頻繁に起こる昨今、規定や設備の整備だけでなく、教職員、学生の防災意識も高める必要があると考える。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	対応できている。	学生の机や椅子など、古くて使えなくなったものは随時新調する。	固定資産管理台帳 物品管理台帳	4.0
6-2 学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	関係機関との連携を密にし、教育体制を整備している。		インターンシップ参加者リスト	3.8
6-3 防災に対する体制は整備されているか	法令に従い、必要な規定や体制を整えている。今後は、起こり得る災害や事象に対応できるよう各種整備を行う予定である。	災害時の体制は不十分である。 ・マニュアルの策定 ・職員の防災訓練の実施 ・防災設備の使用に関する研修の実施	防災マニュアル	3.2

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目7 学生の受け入れ募集

大項目総括	特記事項
<p>18歳人口が減少する中、本校は一定数の学生数を維持できている。これは、本校の教育成果の水準が高く、高校訪問やガイダンス、オープンキャンパスなどで正確に伝えることによって、県内の高等学校からの信頼を得ているからであると考えている。</p> <p>学納金については、他の同分野の専門学校と比較しても標準的なものとなっている。また、納期も分割され、納入による負担の軽減も図っている。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
7-1 学生募集活動は適正に行われているか	適正に行われている。		学校案内、募集要項、卒業生アンケート、オープンキャンパス、HP	4.7
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	高校訪問、ガイダンス、オープンキャンパス等を実施し、卒業生の学校へ正確に伝えている。	学生へのアンケートを実施・分析し、今後の募集に活かす。	学校案内、募集要項、卒業生アンケート、オープンキャンパス、HP	4.5
7-3 学納金は妥当なものとなっているか	標準的なものになっている。		学校案内、募集要項	4.2

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目8 財務

大項目総括	特記事項
<p>現状、一定の学生数が維持できており、財政基盤は安定している。しかし、18歳人口は減少しており、今後の財政基盤を安定させるため方策を検討する必要がある。</p> <p>財務諸表については計画的に予算を策定し、計画・実行をしている。</p> <p>決算処理についても、定期監査を含め適確な会計処理に基づいて行われている。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	財政基盤は安定している。	少子化の影響もあり、入学生が減少する可能性も考えられるため、より信頼され魅力ある学校づくりを目指す。	事業報告書	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算・収支計画は妥当なものとなっている。		財務諸表	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	会計監査は適正に行われている。		監査報告書	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	情報公開の体制整備はできている。	今後情報の公開を予定している。	財務諸表	—

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項
<p>学校教育法、専修学校設置基準などの関連法令に基づき、また、学校法人の寄附行為に則り適切な運営がなされている。学則や諸規定など、教職員がいつでも閲覧できるような体制を整えている。</p> <p>個人情報の保護については、個人情報保護規定を策定している。また、学生に対しても情報倫理ガイドラインを示しており、個人情報保護法の遵守をしている。</p> <p>自己評価・学校評価については今年度より実施しており、今後ホームページでの公開を予定している。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令に従った、適正な運営を行っている。		寄附行為、学則	4.8
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	個人情報保護規定を策定している。		個人情報保護規定 情報倫理ガイドライン	4.5
9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	自己評価を実施しており、自己評価をもとに課題の改善を図り学校の質向上を目指している。		自己評価報告書	—
9-4 自己評価結果を公開しているか	今後公開を予定している。		H P	—

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >

## 大項目10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項
<p>学校の教育資源・施設の活用については、各種検定の試験会場として施設を活用しており、外部受験者の受け入れを行っている。</p> <p>学生のボランティア活動に関しては、多くの学生がボランティアに参加しており、特に毎年7月に行われる皆生トライアスロンのボランティアにはほぼすべての学生が参加し、大会運営の一翼を担っている。</p> <p>本校は、今年度産業人材育成センターからの委託訓練を実施しており、今後も継続して実施する予定である。</p>	

評価項目	現状	課題／改善方策	参考資料	自己評価
10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	各種検定の試験会場として外部受験者の受け入れを行っている。	地域や企業との連携強化する。校舎を地域に開放するイベントを企画・検討する。		3.0
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	ボランティアを奨励しており、ほぼすべての学生が、地元を中心としたボランティアに参加しており、地域貢献をしている。	今後、周辺地域の清掃などのボランティアを検討する。	ボランティア活動等に関する資料	4.5
10-3 地域に対する教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	公共の職業訓練の受け入れや実施を行っている。			5.0

< 評価 5・・・適切 4・・・ほぼ適切 3・・・普通 2・・・やや不適切 1・・・不適切 >